賛成／反対	会派名	議　員　名	①選定委員の人数、資質 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	議会では、市執行部から議案として提出された案件について、議論をしております。公告段階では議案として提出されておりませんので公告については関与しておりません。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は5人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	公告後から業者確定まで議員として指摘する機会はありません。また、議案が上程されるまで細部を調査することは無く、細かな情報提供や説明も受けておりません。
		浅古　高志	越谷市より落札者決定基準について広告直後には資料提供及び類する説明は受けておりません。議会審査に係る資料は基本的に越谷市側に裁量があり、適宜必要な調査は行っており、議会に議案として提案される前に、内容の修正は市議会議員の立場上不可能です。
		野口　高明	2021年12月23日に公告がされたことなどの情報について、越谷市長以下執行部より説明を受けていないため存じ上げない。また例え公告を確認した場合においても、意見等を伝えることは可能であるが、修正等を行う権限は市長以下執行部にある。二元代表制の中で、議会以下議員にはその権限を保有していないため不可能である。
反対	無所属	白川　秀嗣	ご指摘の点は適正であると判断しています。

賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	規定上 3 人で問題ないと判断致しました。
賛成	無所属	菊池　貴光	令和 3 年 12 月議会において、債務負担行為の限度額を 136 億円から 156 億円に引き上げる補正予算案が示されました。 そのとき子ども・教育常任委員会で審査を行いましたが、引け上げることついての質疑があり、それに対する答弁では、20 億円引き上げる根拠（内訳）、また 12 月末には入札の公告を行う予定、との説明もありました。業者選定に強い関心があるのであれば、質問状にありますように入札公告の段階からある程度のリアクションがあってしかるべきかもしれません。 前後しますが、⑦の質問項目に関係する内容について、問題を指摘する良いタイミングの 1 つであったのは確かであろうと思います。実際には、問題は示されませんでしたが。
		小出水　宏泰	ご指摘のとおりと考えます。

賛成／反対	会派名	議　員　名	②落札決定基準の割合が７：3⇒8：２へ恣意的に変更 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	加点項目と価格評価の割合が８：２に変更になった根拠については市執行部より納得のいく説明を得られておりません。そのため、委員会の反対討論において「３名の委員の選定プロセスや、３名という人数の根拠においても納得のいく説明を得られていない。加点項目と価格評価の割合の変更に係るプロセス、各審査項目の評価について恣意的な判断が入り込む余地はあったと考えている。」と発言しておりますが、個別の事業者を指しての発言ではありません。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は５人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	私たち会派は、恣意的との表現や考えは持っていません。
		浅古　高志	私越谷市議会議員浅古高志としても所属会派、刷　新クラブとしても議会にて落札者決定基準の割合について恣意的との発言及び表現は行っておりません。
		野口　高明	他会派（自民党越谷市議団）の議員による令和４年９月定例会・子ども教育常任委員会内での発言であり、刷　新クラブとしては恣意的に落札決定基準が変更されたとは考えていない。
反対	無所属	白川　秀嗣	恣意的に変更されたとは判断していません。
賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	変更理由については教育委員会の説明で納得しており、恣意的とは考えていません。

賛成	無所属	菊池　貴光	質問上のご指摘のように、割合の変更はごく初期の段階での話です。実際に入札に応じた両企業体の組成がいつ頃なのか承知していませんが、組成前の話となるならば、恣意的（あるいは忖度）というのは働きようがないのは確かであろうと思います。
		小出水　宏泰	恣意的だとは考えておりません。

賛成／反対	会派名	議　員　名	③不落札グループが約 2.4 億円安い 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	総合評価方式における逆転事例は存じ上げており、金額の大小の問題ではないと考えております。そのうえで、2.4 億円の価格差をひっくり返すほどの内容の差があったのかどうかの疑問に対し、市執行部から納得のいく回答を得られておりません。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は 5 人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	落札金額について市長に考えを問いましたが、議案の賛否には関係がありません。
		浅古　高志	私越谷市議会議員浅古高志としては当該事業への金額及びその額面評価については申し上げておりません。事業に係る費用ではなく越谷市全体での公共施設へ費やす事の出来る将来財源も併せて、市長へ質疑いたしております。また、所属会派、刷　新クラブとしても当該事業への金額及びその額面評価ではなく執行責任者としての越谷市長へ、どの様にとらえられているかの質疑は行っております。 本公開質問状の質問根拠議案、越谷市立小中一貫校整備 PFI 事業に係る特定事業契約の締結についての議案審査に係る資料には過去の価格差事例についての情報はありませんでした。ただし、当該事業に係る説明及び資料の中には過去の事例及びそれに伴う工事費予測などはありましたが、どれも価格差逆転事例ではありませんでした。その他、過去の事例に関する内容については存じ上げません。
		野口　高明	刷新クラブの反対討論にて総額に対する見解は述べているが、業者間の差額については問題と考えていない。
反対	無所属	白川　秀嗣	これまでも総合評価方式では入札額が高い場合でも落札しており、今回も同様であると判断しています。

賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	単純に値段だけ比べれば安い方が良いと考えますが、選定委員会の決定を尊重致しました。
賛成	無所属	菊池　貴光	議会への情報提供ですが、契約金額が1億5000万円を超えて議会の議決が必要となった案件以外は、どこが入札し落札したかの個別情報は通常は市からの積極的な提供はされていないのが実情です。 また、議決議案の場合でも提供される情報は、評価点と契約金額が基本で、落札価格が逆転しているか否かは個別に確認を取らないとわからないのが実情です。 むしろ総合評価方式は技術や過去の実績を含めて評価されるものであり、その中においは価格よりも技術力などが評価されて、質問状のご指摘のような価格の逆転現象も当然あり得る話だと思います。 蛇足ながら、審査会委員に大手監査法人に所属されている公認会計士の方が入っています。議事録を見る限りでは、財務のプロから見ても価格の逆転現象は問題視されていないように見受けられました。
		小出水　宏泰	問題があったとは考えておりません。

賛成／反対	会派名	議　員　名	④市内企業の与信面、経営リスクの問題視 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	当会派においては、「市内企業の与信面、経営リスク」については言及しておりません。当会派の反対理由は個別企業に対するものではありません。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は５人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	私たち会派は構成企業について良悪の判断はしておりません。
		浅古　高志	私越谷市議会議員浅古高志と所属会派、刷　新クラブとしては貴殿グループ及び関連事業者、また今回入札に参加されたもう一つの企業グループ及び関連事業者にたいして、与信面で疑問視したことはございません。本議案の事業者選定の内容で、一部越谷市内業者による参加を評価する項目が「地域経済及び地域社会への配慮」として設定されており、その配点割合が学校施設建設に係る設計に関する事項に準じて高配点であった事から、教育長へ当該事業である、小中一貫校整備事業は施設そのものの性能と同様に、市内建設業者による経済性や地域貢献度を教育委員会側が求めている事の確認は議場にて行っております。その詳細につきましては自由記載にてご説明致します。
		野口　高明	今後、公共施設の３９％以上削減していく必要があると示された本市の公共施設等総合管理計画の内容等を、選定過程にて市長以下執行部は選定委員会に示していない。今回反対した理由は、あくまでも越谷市による業者選定過程に疑義があるためであり、どのような業者・選定委員が関わったかは問題としていない。
反対	無所属	白川　秀嗣	財務調査の審査は公認会計士（審査委員である）によて適切に判断していると思います。

賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	入札参加条件をクリアされていれば、問題ないと判断致しました。
賛成	無所属	菊池　貴光	質問状にある説明で、与信面に問題がないことを理解しました。 また、③同様に、審査会委員に大手監査法人に所属されている公認会計士の方が入っています。議事録を見る限りでは、財務のプロから見ても与信面を問題視されていないように見受けられました。
		小出水　宏泰	私としては、与信面に問題があったとは考えておりません。

賛成／反対	会派名	議　員　名	⑤関心表明の取扱い 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	我々が問題視しているのは、「関心表明が評価に与えた影響」です。関心表明が要求水準として求められていないにも関わらず、執行部からは「3倍近くの関心を示している地元企業がいるというところを審査委員の方が評価された」との答弁があり、そのことが加点審査項目の入札参加者独自の提案に関する事項に影響を与えたと認識しております。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は５人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	私たち会派は、関心表明について発言しておりません。
		浅古　高志	私越谷市議会議員浅古高志及び所属会派、刷　新クラブはそのような質疑及び発言は行っておりません。
		野口　高明	他会派（自民党越谷市議団）の議員による令和４年９月定例会・子ども教育常任委員会内での発言であり、回答しかねる。
反対	無所属	白川　秀嗣	関心表明はご指摘の通りであり、何らか問題はないと判断しています。
賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	関心表明については、今入札に直接関係ないと判断致しました。

賛成	無所属	菊池　貴光	関心表明について、不勉強のため理解していませんでした。しかし、委員会での質疑と質問状の改めての説明で理解しました。
		小出水　宏泰	私としては、関心表明における疑念は持っておりません。

賛成／反対	会派名	議　員　名	⑥覆面審査なのに市内企業と何故判定出来るのか？ 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	匿名にも関わらず「市内企業の参加割合の高いグループ構成による地域経済への貢献、地元企業の参画、人材活用、地元からの資材調達に関する提案を評価した」ことに疑問を感じております。グループ構成企業の市内企業の割合としては、「KS－Y グループについては 16 社のうち 12 社が市内企業、KS－S グループについては 15 社のうち 11 社が市内企業」との答弁があり、市内企業の差が 1 社しかないにも関わらず、大きな点数の差がついたこととの整合性が取れていないものと認識しております。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は 5 人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	匿名審査でありながら地域貢献度の採点はどの様に判断されたのか疑問を感じ執行部に対し質疑しました。
		浅古　高志	私越谷市議会議員浅古高志としてはその様な質疑は行っておりません。しかしながら、本議案審査に係る越谷市からの資料提供には、要求水準に係る事項は無く、その後各グループの提案書の提出を市へ求めるも、参加企業の企業秘密に係る部分に為、資料提供はできないとの回答があり、その代わりとして審議会は企業名を伏せて審査を行ったとの説明はあったものの、提供資料には企業名の記載があった事と、回答④にも記載した通り、本議案の治業者選定の内容で一部越谷市内業者による参加を高評価とする「地域経済及び地域社会への配慮」として設定されており、その配点割合が学校施設建設に係る設計に関する事項に並び高配点であった事から教育委員会側が求めている地域社会への経済及び配慮とはいかなるものか確認すべく、当会派、刷　新クラブの武藤智代表により質疑を行っております。以上の事から貴殿グループのみを対象とした質疑ではありません。
		野口　高明	議案における執行部の説明の中で、我々に PFI 事業における要求水準書は提示されておらず、そのため疑義が生じたための質疑である。 疑義がある場合に確認できる場が質疑なので、当然である。

反対	無所属	白川　秀嗣	貴グループが実名で提案書を作成したとは考えられません。
賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	当会派は、実名は入札結果まで知りませんでした。選定委員が判定できたかどうかはわかりません。
賛成	無所属	菊池　貴光	質問状にある説明で、市内企業うんぬんの表現がどう取り扱われていたか理解しました。
		小出水　宏泰	本件についても、貴社（グループ）に問題があったとは考えておりません。

賛成／反対	会派名	議　員　名	⑦学校だけの用途で他施設との複合化や民間のノウハウの活用がない 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	当会派はこの点については言及しておりません。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は5人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	執行部に対してPFI事業に対しての考えについての質疑であり、次回の賛否には直接関係はありません。業者の認定は執行部がおこなうもので、議会が議案の賛否をおこなう機関です。
		浅古　高志	私越谷市議会議員浅古高志としては、学校施設は既に避難所や地域体育館等として設定されている事から複合施設であるとの認識をしております。しかしながら、越谷市は本議案が提案された同じく9月議会にて公共施設等総合管理計画基本方針を改訂し、その中で今後40年間で越谷市が保有する公共施設の床面積を39%減少または公共施設に係る経費を約1018億円削減する必要があるとの資料を我々市議会へ示しました。同議会中に一方では公共施設の維持管理の為、規模縮小または経費削減を示し、一方では市内初に学園構想という事で、経費よりも施設性能や市内事業者による建設、維持管理を優先するとの提案がありましたが、刷　新クラブとしては今までも持続可能な街づくりや公共施設の維持、税金の無駄遣いを指摘してきた事から、PFI事業として一般的には、公共施設の機能集約や複合化による孤立的な公共施設運営を指摘すべく、複合化の質疑を行いました。今後の採決判断については、管理責任者である越谷市がどのような機能を必要としているのか、またその為の必要な財源（将来的なものも含む）の確保をどの様に行っていくのか、これらについて我々市議会議員が個々に正確な判断をできるよう、可決に向けて情報の提供及び説明を行う事が、

			重要となってくるので現段階での賛否についてはお答えできません。業者確定後の議論ではなく、事業認定時の議論ではないかとの点についてはその通りだと思います。以前より公共施設の在り方について一般質問等で越谷市に対しては、質問や提案を行っております。当該事業についても回答⑥に記載した通り、当該議案での提案内容のほとんどを知る事がかなわなかった為、企業皆様よりいただいた提案については一切触れる事無く、上記回答に記載したように、越谷市へ今後の公共施設の在り方について質疑を行いました。
		野口　高明	事業を決定するための議論をするのはあくまでも市執行部側である。議案が提出され、事業決定に至る越谷市の決定過程に疑義があり、その疑義が解消されなかったため反対した。なお我々議員は、市政に対する一般質問や各常任委員会、予算決算常任委員会分科会質疑等で、市執行部側に思いや考え方を伝えている。越谷市は、越谷市公共施設等総合管理計画（改訂版）にて、基本方針２（建物の総量の抑制）として、２−１（更新時のダウンサイジング）、２−２（施設の複合化の検討）、２−３（施設の新規整備の抑制と統廃合の検討）を示している。現在の物価上昇、光熱水費の上昇等は、家計のみならず、本市の財政状況にも多大なる影響を与えている。本市は、越谷市公共施設等総合管理計画（改訂版）のシミュレーションを踏まえた具体的な目標として「保有する建築物の面積の３９％以上減らす。」「建築物を８０年使用する。」という暫定目標を掲げている。本市自ら掲げた目標に対して、本市は努力をする義務が生じるのは当然であると考える。よって、今後の本市の事業計画及び決定についても本市の公共施設等総合管理計画に基づく事業決定であることを望み、照らし合わせながら議案審査をして採決する。基本の考え方は以上であるが、学校以外の複合化されなければ反対かどうかについては、蒲生の子どもたちへの影響と併せて、越谷市の子どもたちの将来への負担等の影響等も考慮し、総合的に判断していく。
反対	無所属	白川　秀嗣	最初の構想（三学園）から複合化の方向はなく、これを問題にする意味はないと判断しています。
賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	用途の複合化がないから反対とはならないと判断致しました。
賛成	無所属	菊池　貴光	質問状のご指摘の通り、業者確定後の議論ではなく事業認定時の議論であるのはその通りであろうと思います。
		小出水　宏泰	ご指摘の通りと考えます。

賛成／反対	会派名	議　員　名	⑧各グループが提案書作成の費用 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	各グループの個別的な事情については承知しておりません。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は５人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	費用については執行部に質問してください。
		浅古　高志	提案書作成に係る費用については、回答⑥に記載した通り、市への資料の提示を求めましたが諸事情によりかないませんでしたので、内容や作成費用については存じ上げておりません。 また、再入札に係る費用負担について、今回の越谷市及び私越谷市議会議員浅古高志個人の判断により、参加企業皆様へ様々なご負担を強いてしまった事については申し訳なく思っております。 特に建設事業は長期に係る為、提案を含む事前の準備から事業完成までの手配など多大なご負担をかけてしまった事については、本当に申し訳ございません。企業様はもちろん、子ども達や保護者の皆様、地域の皆様に対して金銭ではなく多大なご負担をかけてしまった事についても申し訳なく思っております。ご負担については、議案の審査中も大きく懸念を致しておりましたが、越谷市とも議論を重ね、議場でもギリギリまで質疑を行いましたが、認識の溝を埋める事が出来ず、賛成に票を投じる事ができませんでした。再入札の費用負担については、議員として転嫁する事はできませんが、今後この様な事が無いよう、市に対しても情報提供を強く求めると共に、公正公平な入札制度の在り方についても、今後の議員活動を通じて取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解をいただければと存じます。

反対	維新クラブ	野口　高明	費用がかかることは存じているが、金額については各事業者によって違いもある事柄であると思われ、存じ上げない。 なお、PFI 手法により本市が公告を行い、提案書作成費用は提案事業者側にあるのは、手をあげる前に分かっていた事実でありリスクと考える。同様の手法により本市が公告する限り、同様の提案書作成費用が事業者側に発生するのは当然である。 本市が PFI 手法を取り入れることについては、公共施設等総合管理計画（改訂版）、基本方針１（コストの抑制と財源確保）として、１－４（民間資金等の調達の検討（PFI や PPP））を示していることから支持をする。しかしながら、提案の中身がコストの抑制に繋がっていないと考えられる場合はその限りではない。
反対	無所属	白川　秀嗣	大変なご努力と経費を投入してエントリーされたことに敬意をもっております。
賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	すいません。正直知りませんでした。
賛成	無所属	菊池　貴光	質問状にある説明で、提案書作成段階で相当な費用を要していることを理解しました。再入札した場合、さらに発生する費用が応札事業者を圧迫する恐れがあることを理解しました。
		小出水　宏泰	3,000 万円以上の費用が掛かっている事は、存知上げませんでした。

賛成／反対	会派名	議　員　名	⑨再公告された場合に公平な競争が行われると思いますか？ 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	その点については、入札を管理する執行部にお尋ねください。議会はあくまで市民の代表として、二元代表制のもと、提案された議案に対して審議する議決機関です。
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党市議団は５人全員一致した共通の見解のため、「自由記載欄」にてまとめて回答
反対	刷新クラブ	武藤　智	金額については不透明ですが、金額の問題ではなく今回の議案には反対をしました。
		浅古　高志	提案企業として難しい点も多々あるかと思います、越谷市からは公平性を損なわず審査を行うとの説明がありました。 昨年末から今年にかけて建築資材の急激な高騰がありました、現在では一部建築資材では、価格が落ち着いてきているとの報道等もされておりますが、建設工事費デフレーターなどの建築価格指標では、2012年ごろから、材料、人件費共に上昇傾向が続いており、また、建設業界の人材不足や世界的な経済状況から引き続き建築資材の高騰は続くものとされております。そういった中、早期の工事完了はご指摘のとおり最終的な経費削減につながるとも考えられますが、物価スライドを利用した場合には、上昇分の1.5%の費用については、請負側負担する物ともなっており、請負事業者側からみた場合には物価スライドを適用するよりは、当時の契約時から最新の物価価格評価に基づく積算資料や定数珪砂により、より実態に近い請負価格で受注した方が、負担は少ない可能性も考えられるかと思います。当該事業では回答⑥に記載したとおり、越谷市教育委員会は越谷市内の事業者による「地域経済及び地域社会への配慮」を学校施設性能と同等に求めていた事から建築資材の物価上昇による財務負担よりも子ども達の教育環境の

			整備とともに地域経済に対しての財政負担は事業内容に含まれていたものと考えております。
		野口　高明	再公告後、公平公正な競争が行われるよう、市長以下執行部に望む。現在の世界情勢等を踏まえると今後も物価の上昇があることが予想されるのは当然であるが、会議の原則に基づき前回は前回、次回は次回となる。
反対	無所属	白川　秀嗣	この様な正当な理由もなく契約議案が否決されたことで今後の入札に大きな影響が出ることを大変心配しています。
賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子 清水　泉 大田　ちひろ	回答ナシ
賛成	維新の会	小林　成好	当会派は、常に公平な判断を心がけております。安く済むとの考えはその通りと考えます。
賛成	無所属	菊池　貴光	質問状の説明にあるように、提案内容について議会では仮契約を結んだ貴グループの一連の資料は公開されている一方、非落札グループの資料は公開されていません。その点、公平ではないと考えています。このため、本来の契約者が再入札した場合には、評価の際になにがしかの加点があるべきではないか、という提案はしばらく前に市に意見として提案はしました（その意見は採用されないようですが）。
		小出水　宏泰	ご指摘の通りと考えます。

賛成／反対	会派名	議　員　名	自由記載 回　　答
反対	自民党	野口　佳司 島田　玲子 金井　直樹 小林　豊代子 伊藤　治 大野　保司 野口　和幸 立澤　貴明	回答ナシ
反対	公明党	岡野　英美 守屋　亨 竹内　栄治 瀬賀　恭子 畑谷　茂 久保田　茂	回答ナシ
反対	共産党	山田　大助 金子　正江 宮川　雅之 工藤　秀次 大和田　哲	日本共産党越谷市議団の代表の山田です。 日本共産党市議団は５人全員一致した共通の見解のためわたしがまとめて回答させていただきます。 また詳しくは後述しますが個別の設問については見解を持ち合わせていませんので、一括して回答いたします。 日本共産党市議団は元々の小中一貫校整備・３学園構想に反対の立場です。 質問の中でも何度か触れられている通り、疑義がある点や日本共産党市議団としての提案・要望などを、契約議案に至る前にこれまで事前に何度も一般質問や予決算の中で取り上げてきました。しかし市教育委員会は一切の変更を拒否し、これらの意見を一切顧みない態度を取り続けています。そのためわたしたちは関連議案に一貫して反対してきました。今回の契約議案への反対もその一連の経過の中での判断となりますことを、まずご理解いただきたいと思います。 一方でこの契約議案のみを考えた場合には、公告から入札、審査・選定、落札、議案提案までの経緯には、反対しなければならないほどの瑕疵や課題はないものと考えています。従って９項目の質問項目については、全体として日本共産党市議団として特に疑義があるとは考えておらず、特段の見解は持ち合わせていません。 また子どもや保護者、事業者のみなさまに多大な混乱とご迷惑をおかけしていることについては、この計画・構想について、事前の説明や地元等への相談もなく無理やり進めている市教育委員会にそもそもの原因と責任があると考えています。結果として９月議会では契約議案が否決となりましたが、根本的な見直しはされないことが表明されています。

			日本共産党市議団としては計画見直しやレイクタウン地域への学校新設こそが子どもたちの健全な成長・発展につながる方向であるとの立場で、引き続き取り組んでまいります。
反対	刷新クラブ	武藤　智	今回の議案に対しては、落札された構成企業や落札金額に問題があったのでは有りません。子どもたちの教育拠点、また地域の防災拠点となる学校施設について、早急に整備していくことに反対ではございません。しかしながら、予算規模が 150 億円の大型 PFI 事業であるにもかかわらず。越谷市としては提案事業者に対し、学校施設という単一の用途のみでの水準を要求をしている。また、構造体や設備に特殊な要因を想定しておらず、他の公共施設との複合化の検討や、民間のノウハウの活用などについて、官民連携の大型 PFI 事業として、熟慮の上の要求水準とは言い難いことや、業者選定過程において、選定審査会の人数を条例範囲内最大とせずに、多くの意見を取り入れていない。また審査には、事業分野に関する専門性や、財務や法務に関する専門性など、幅広い知見が求められるため、専門家の審査委員が選定されているが、専門外の分野についても評価に関与しており、適正な評価となっていない可能性があること。 他にも業者選定過程においていくつかの質疑があったが、質疑等では、払拭されなかった、また、大型事業にも関わらず市役所内各部署の関与が見えてこなかった。
		浅古　高志	第 65 号議案、越谷市立小中一貫校整備 PFI 事業に係る特定事業契約の締結について質疑内容や否決に至るまでの理由についてご説明いたします。別紙をご参照ください。※別紙（浅古議員）
		野口　高明	厳しい財政状況が続いている中、本市の人口も昨年より 1,236 人の減少（令和 3 年 12 月 1 日現在 345,316 人、令和 4 年 12 月 1 日現在 344,080 人）が起きている。 今後のまちづくりの考え方としては市長の方針はダウンサイジングであり、より厳しい財政運営をしていくのはその方針を示した市長以下執行部である。 その方針に対しては、チェック機能たる議員として矛盾のない市政運営となるよう注視していく。 なお日本全体において人口減少社会ではあるが、本市としてはなるべく人口減少とならないよう、日々街づくりを進めていくべきと個人的には考えている。
反対	無所属	白川　秀嗣	別紙 2 枚をご参考にしてください。私のブログ（2022 年 9 月 19 日付け）で私の考えを表明しております。※別紙（白川議員）
賛成	立憲・市民ネット	細川　威 後藤　孝江 松田　典子 山田　裕子	回答ナシ

		清水　泉 大田　ちひろ	
賛成	維新の会	小林　成好	維新の会は、特定の組織や企業、団体の支援や寄付金などは一切頂いておらず、市民の皆様にとって、何がより良いことかで判断しております。 今回の議案については、入札過程に特に問題があったとは考えておらず、否決することで入札やり直しとなり、建設資材高騰の中費用が余計にかかることは容易に想像でき、工事完成も延びることから、市民の皆様、取り分け子ども達のためにも賛成可決が良いと判断し賛成致しました。
賛成	無所属	菊池　貴光	以上、9 点の質問事項に関して感じた点をコメントさせて頂きました。反対の立場の会派・議員がそれぞれどのように回答されるのか興味深いところです。さておき、市および教育委員会では既に、1 年先送りしたスケジュールで改めて仕切り直すことを表明しています。子ども達への影響が極力生じないように進められることを私も願っています。
		小出水　宏泰	当方は議案に賛成いたしました。本件について、貴グループに何か不備があったとも考えてはおりません。無所属なため、力不足で、申し訳ございませんでした。